

たいせつな いのち

R5.10
まぐみ

～カブトムシの飼育を通して～



昨年から飼育していたカブトムシが卵を産み、たくさんの幼虫が誕生しました。「いっぱい(幼虫)いるから、ほかのクラスにもあげよう!!」と飼育ケースを入れ替え、他クラスにも育ててもらいました。毎日観察し、やがて幼虫は「さなぎ」→成虫へと羽化し、立派なカブトムシになりました。

<幼虫さんおひっこし>

めっちゃいっぱい
おるなあ。



大きなケースへ
お引越しせしめ青、藤さん
へも行きました。

～幼虫

<幼虫→さなぎへ>

青組さんが「さなぎになったよ!!」と
見せに来てくれました。



これ
さなぎ
やぞ!!

みせて
!!

すごい!!

<白組さんにおげました。>

成虫になったカブトムシを
白組さんにおげました。



白さん
カブト
ムシ
あげると



お水とセリ-をあげて
大切に育ててね!!

そして黄組の
幼虫もさなぎに
!!



こ
やん
!!

したから
よくみえる!!

さなぎおる!!

<さなぎ→成虫へ>

カブトムシ
いっぱい!!

オス

つのがあるのが
オス!!
ないのはメス!!



毎日、水とセリ-をあげ
ました。

次
見せて
♡



いつも飼育ケース前には
お友達がいます♡



オスとメスの違いにも
関心を持ち始めました。

オス
かわこいい♡



カブトムシとクワガタの
違いも図鑑と手帳
でよく言合っていました。

これは
カブト
やで。

クワガタ
とれかな...?

せり-あけよ!!



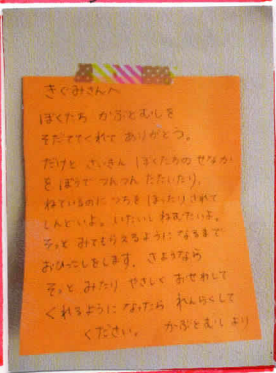
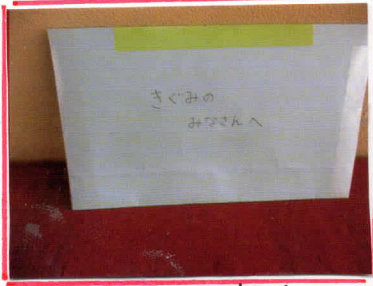
みて!!
メスが
外に
出てる!!



あ。
ほんま
や!!

「カブトムシは夜に
いっはいい重かいてるのかなー？」
と言合いました。(完全でなわけれど
基本夜行性)

<カブトムシからの手紙>



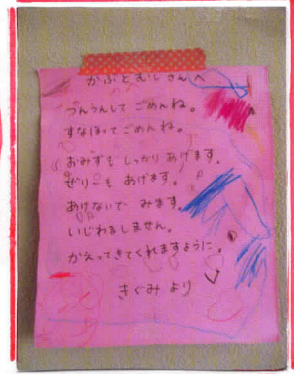
「カブトムシおらへん。」
「どこ行ったん...? あ、なんかある!」
と手紙を発見!! 担任が言葉め、
サークルタイムでカブトムシの
お世言話、観察の仕方を言合いま
した。「お手紙代かこう!」と声か
上がり、返事を書きました。

サークルタイムの時に
みんなで文を書き
保育者が代筆しまし

カブトムシの成長を見守る中で、その
体の様子に興味を持ちたり、図鑑で
言合る中で、カブトムシの持ち方を矢印たり
して、そと角虫れることもありました。それが
楽しくなり、つい過度にカブトムシに角虫れて
しまふことが多くなつた頃、カブトムシは手紙
を残していなくなつてしまひました。
(別室で保育士が世言合していました心)



早く帰つてきて
ほしいなあ...



カブトムシ
言読んでくれるかなー?

そのり後カブトムシは
り帰つてきて、みんなも
気をつけながら観察
するよふになりました。

<「またげんきにうまれてきてね。」>

夏も冬わり、元気なカブトムシも寿命を
迎え、七くなつてしまひました。毎日お世言話、
観察したカブトムシ、みんなでお墓を
作つてお参りしました、図鑑で成虫になつて
からは1~3か月で七くなつてしまふことも知りました。



セミ
みつけた♡

もっといいお
塚る??

また、あおうね。



まとめ ・カブトムシとのかかわりによって生き物の持つ数や命を感じ、
育てることの大切さや喜びを味かうことが出来ました。

・命が消えそふ変化や死に気づき、その場面でもしか感じること
のない感情を体験することが出来ました。

・命との出会いや別れを大切にすることで
生き物への思いが深まり、かかわりか
にも表れるよふになりました。

みて!!
みんな
もよふのあし
おるで。

